



明治29年建設の酒田郵便電信局

【第98回企画展示】

# くらしと郵便、電信・電話展

——酒田の文明開化——



明治25年鏡屋で使用した  
ガワーベル電話機

開催期間 平成9年11月21日(金)～平成10年2月15日(日)  
開館時間 午前9時～午後4時30分  
休館日 11月～3月 月曜日(月曜日が休日のときは翌日)  
年末年始(12月29日～1月3日)  
入館料 大人100円 児童・生徒50円  
65歳以上の方と身体障害者の方は無料

## 酒田市立資料館

酒田市一番町8-16 TEL(0234)24-6544

◆開催にあたって◆

明治初期、文明開花の足音高く次々に導入された西洋文明は、当時の人に「驚き」以上に「不思議」に感じられていました。中でも「いながら遠隔の相手の声が聞こえる」電話、「馬より力が強く、はやい」蒸気機関車はその代表でした。

明治4年、東京・大阪間に郵便制度がしかれ、翌5年には酒田郵便役所が設けられ、郵便事務の取り扱いを開始しました。そして、本町に西洋形木造庁舎の「酒田郵便電信局」が開設されたのが、明治29年(1896年)のことです。以来1世紀、酒田の文明開花の推進に大きな役割を果たしてきました。特に、商人の町である酒田にとっては、情報交換の手段としておおいに力を入れてきたことでしょう。

現在、高度の通信技術の進歩をみる時、そこにはこれまでに多くの人々のかかわりがあったことがうかがわれます。

今回は、酒田の文明開花の原動力となった郵便、電信・電話の発達を通して、酒田びとのくらしを振り返ってみようと企画したものです。

開催にあたり、通信総合博物館(ていぱーく)、酒田郵便局、NTT酒田支店、他多くのご協力をいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。



通信旗



酒田郵便局(現)



酒田郵便電信局配達人(明治35年)



飛脚  
(郵便の生まれるまで)



錦絵 早飛脚



運送(郵便の今昔)



駅鈴(写真で見る郵便資料)

外務員の服装



明治5年頃



現在



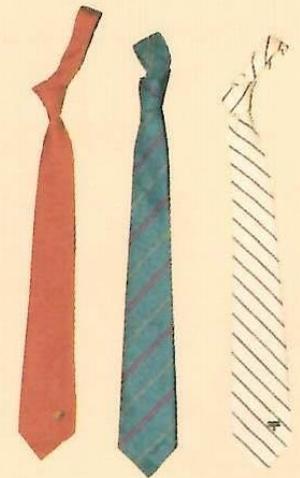
郵便物配達用鞆



郵便物書留用鞆



郵便物集配  
補助袋



ネクタイ



外務員  
ヘルメット



外務員夏帽子



ゲートル



年賀状



3銭切手 (明治20.35.40年)



1銭はがき (明治20年)



日本最初の切手 (明治4年)



表皮封筒 (明治40年)



料金表



郵便案内



ポストのうつりかわり



郵便120年

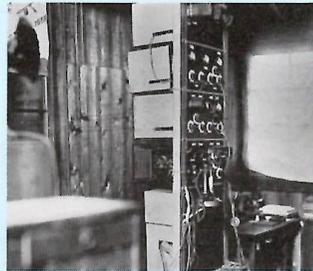


てがみのたび

# 電信・電話



電話開通祝賀 (明治41年)



日本初の超短波無線電信  
電話送受信機 (飛島郵便局)  
(昭和8年)



共電式電話開通時の交換室  
(昭和11年)



東海名所改正  
道中記 (電信)

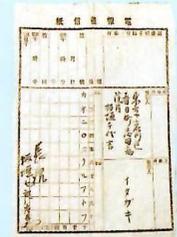


電話をかける女  
(ガワーベル電話機)

## 電報頼信紙



(昭和)



(明治30年代)



電報送達紙 (明治29.31.32年)



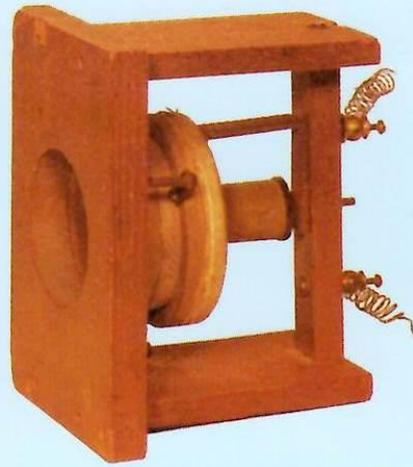
電話とTVが家庭にとどくまで

NTT  
酒田支店 (現)





モールス電信機セット



ベル電話機  
(明治9年) 写真



2号共電式卓上電話機  
(昭和2年)



900Pプッシュホン(平成5年)



新型赤電話機  
(昭和46年)



モールス電信  
エレキキー



デルビル磁石式  
壁掛電話機  
(明治29年)



34号磁石式卓上電話機(昭和30年)



デルビル磁石式卓上  
電話機(明治30年)



600形自動卓上電話機  
(昭和37年)



NTTの10年